

## News & Information

---

2008/10/16

〔PC-SOD研究論文掲載決定のお知らせ〕

当社取締役会長水島徹らが行った**PC-SOD**の潰瘍性大腸炎に関する研究（熊本大学大学院医学薬学研究部、聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター、慶應義塾大学消化器内科および弊社の共同研究）がこのほど、薬理学の分野で最も評価の高い国際科学雑誌JPET（The Journal of Pharmacology And Experimental Therapeutics）へ掲載されることになりました。

この論文では、マウス潰瘍性大腸炎モデルにおいて、これまで報告されていた毎日の静脈内投与に加えて、間歇静脈内投与や経口投与でもPC-SODが有効であることが述べられています。現在臨床で検討している毎日の静脈内投与では入院治療になるため、軽症の患者様は治療対象となりませんでした。今回の動物実験により効果が認められた経口投与を応用すれば、軽症の患者様の在宅治療が可能になるため、PC-SODの利便性、市場性を大きく向上させることが出来ます。

先日開催されました潰瘍性大腸炎治験調整委員会においても、経口投与によりPC-SODの医薬品としての価値がさらに高まるという評価を戴いています。

弊社としましては、この検討結果を受けて、潰瘍性大腸炎での更なる開発を実施する所存です。

雑誌名：JPET（The Journal of Pharmacology And Experimental Therapeutics）

論文名：Therapeutic effect of lecithinized superoxide dismutase (PC-SOD) against colitis

著者：TOMOAKI ISHIHARA, KEN-ICHIRO TANAKA, YUICHI TASAKA, TAKUSHI NAMBA, JUN SUZUKI, TSUTOMU ISHIHARA, SUSUMU OKAMOTO, TOSHIFUMI HIBI, MITSUKO TAKENAGA, RIE IGARASHI, KEIZO SATO, YUTAKA MIZUSHIMA and TOHRU MIZUSHIMA

以上